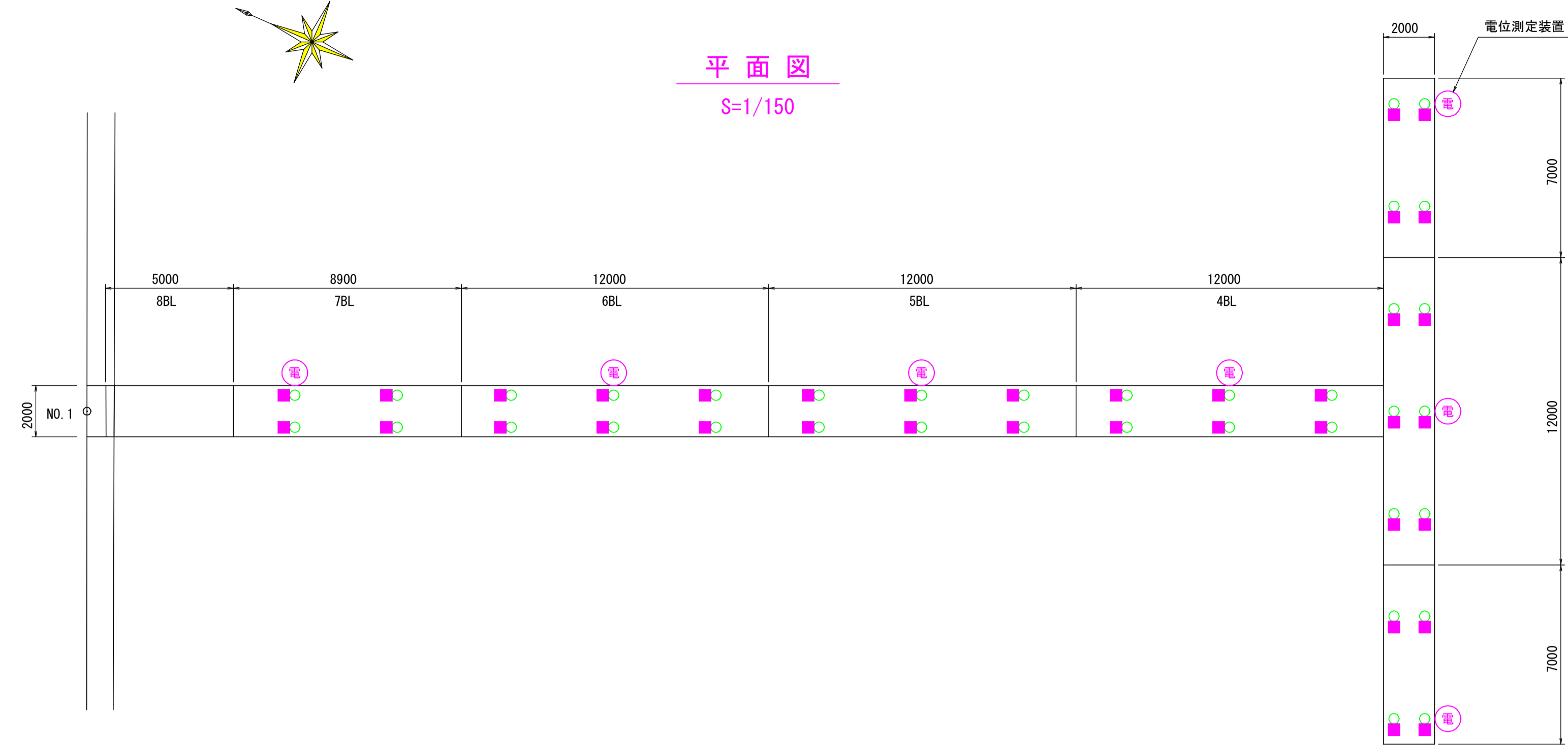


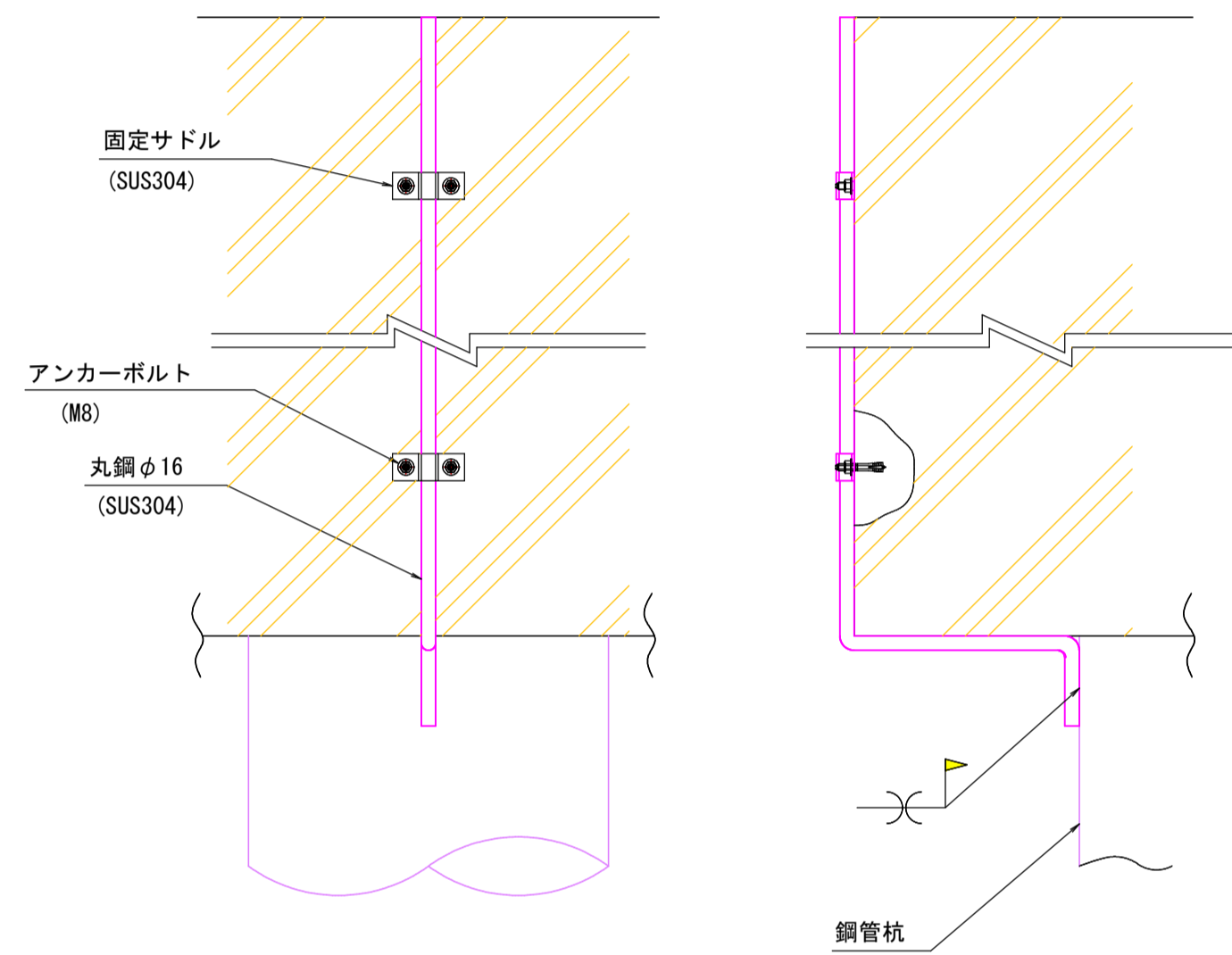


# マリーナ3号棧橋電気防食計画図

平面図  
S=1/150



電位測定装置  
S=NONE

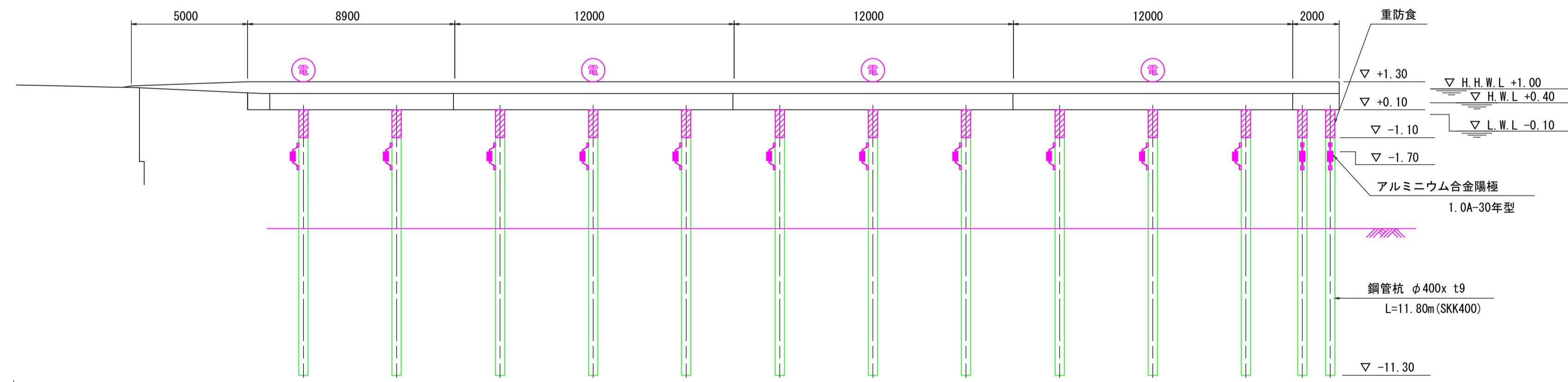


凡例

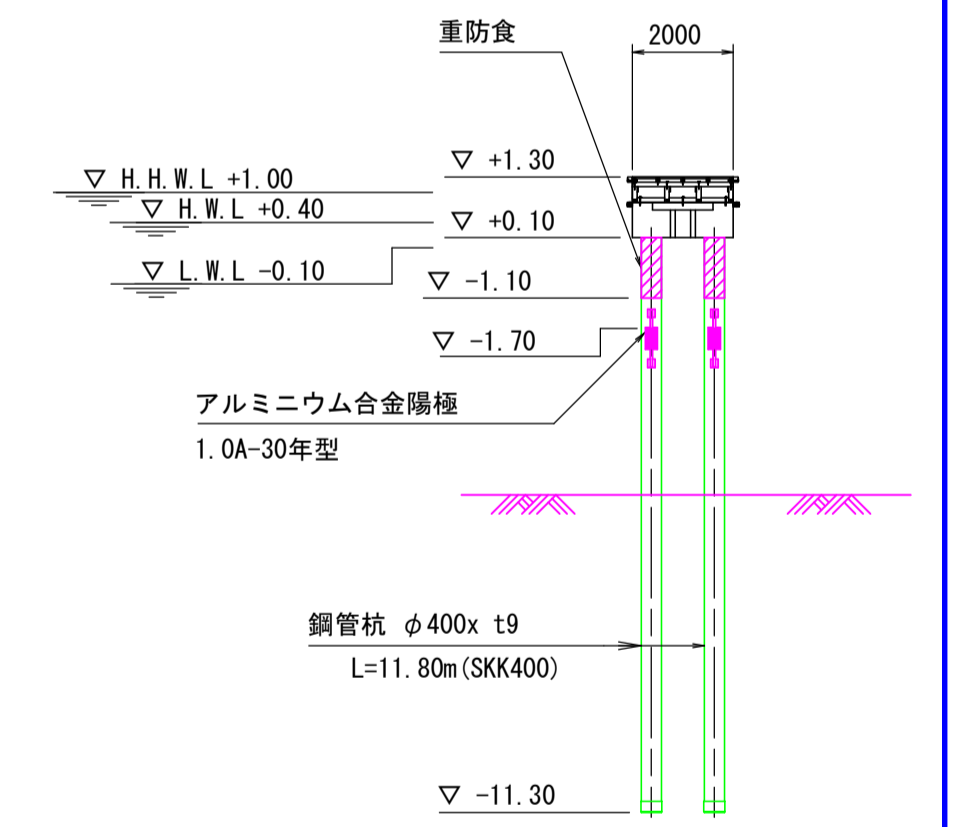
名称	記号	取付水深	取付数量
アルミニウム合金陽極 1.0A-30型	■	-1.5m	36個
電位測定装置	○電	-	7箇所

※ 現場の状況により、陽極および電位測定装置の取付位置を変更する場合は監督員の承認を得るものとする。

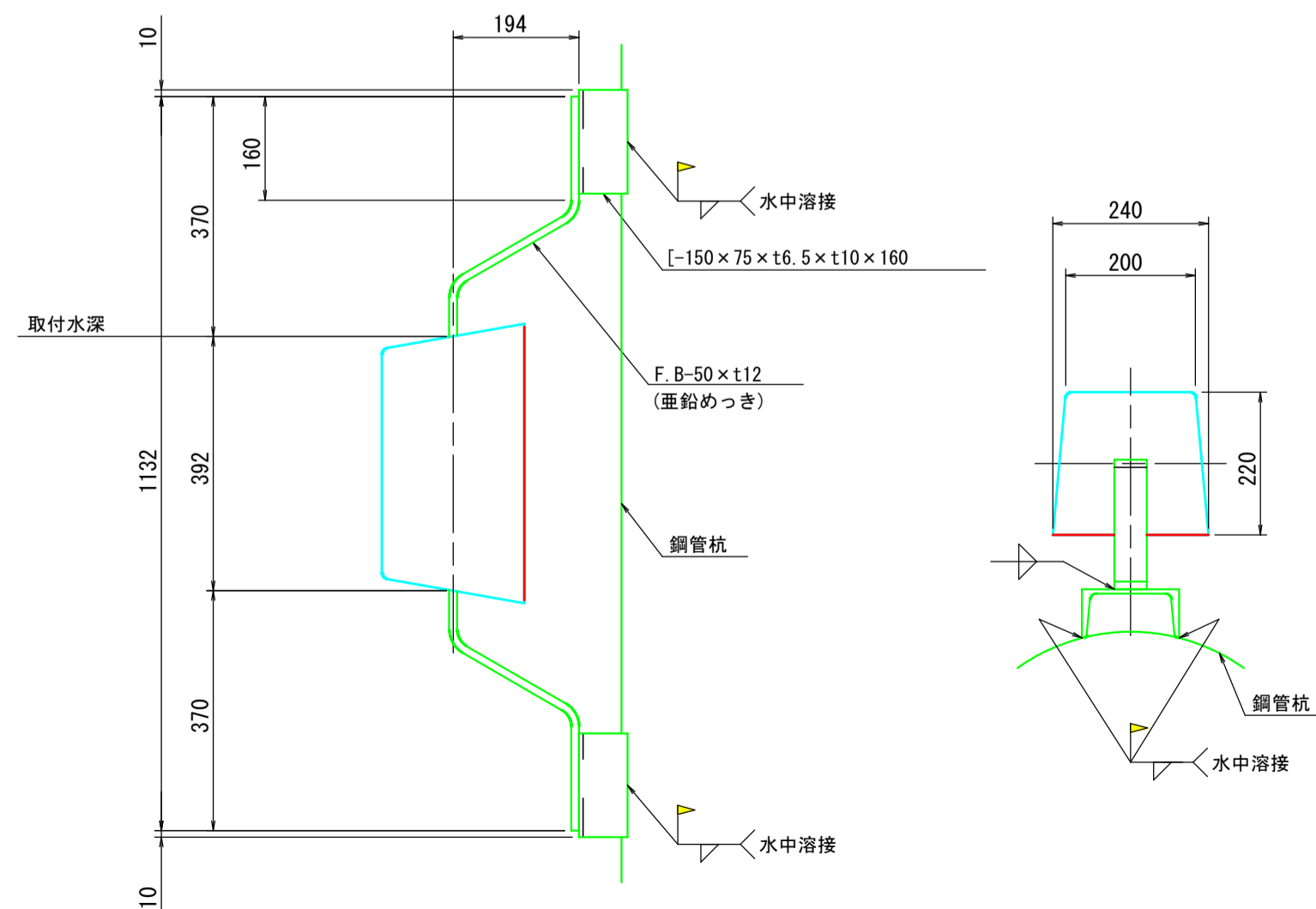
正面図  
S=1/150



断面図  
S=1/150



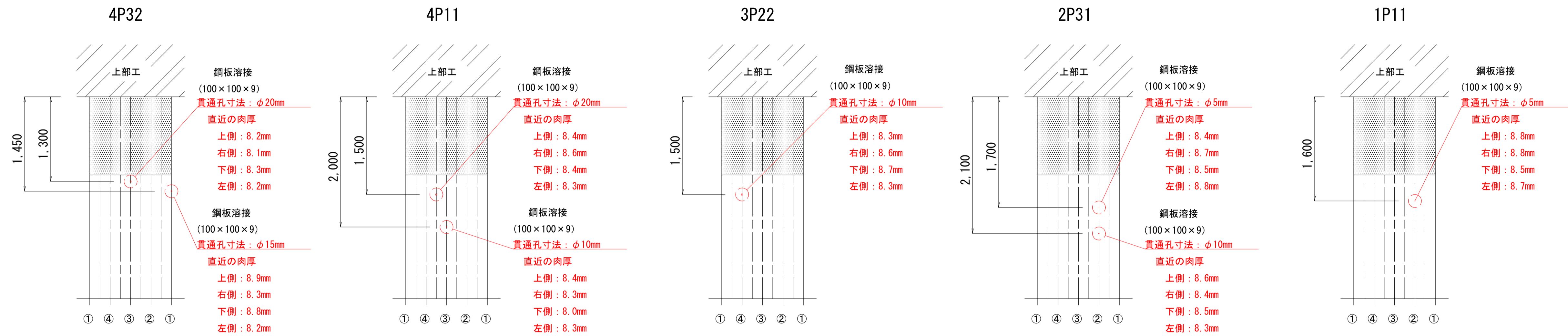
取付要領図 S=1/10  
アルミニウム合金陽極  
(1.0A-30型)



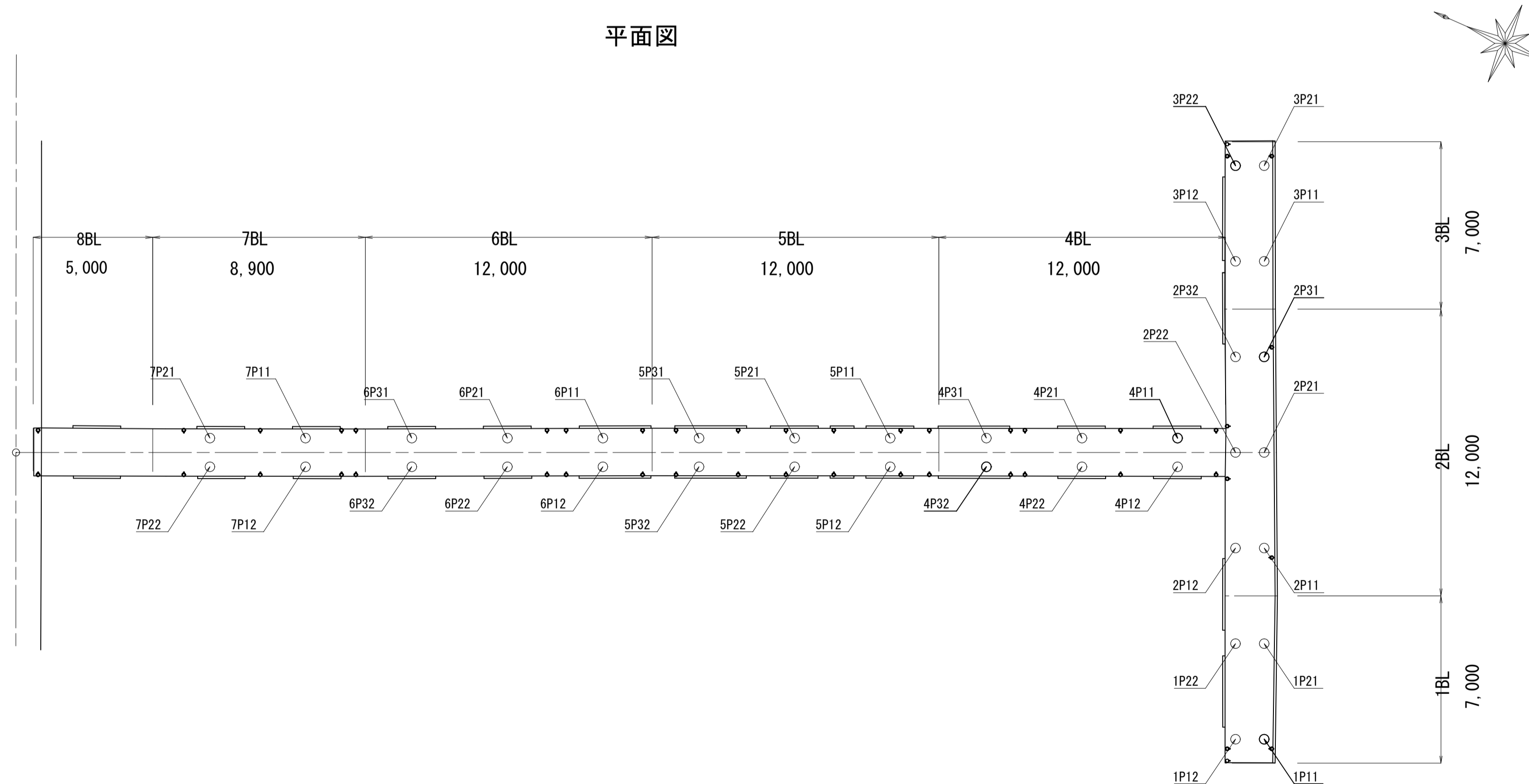
## 交付金 当初

年度別	令和 4 年度		
事業名	防災・安全交付金		
工事名	外港竹内南地区 境港公共マリーナ棧橋(-3.0m)改良工事		
図名	マリーナ3号棧橋電気防食計画図		
縮尺	図示	単位	M
図面番号	全 4 葉中の 2		
位置	鳥取県境港市新屋町		
<b>境港管理組合</b>			

# マリーナ3号棧橋鋼板溶接工位置図



平面図



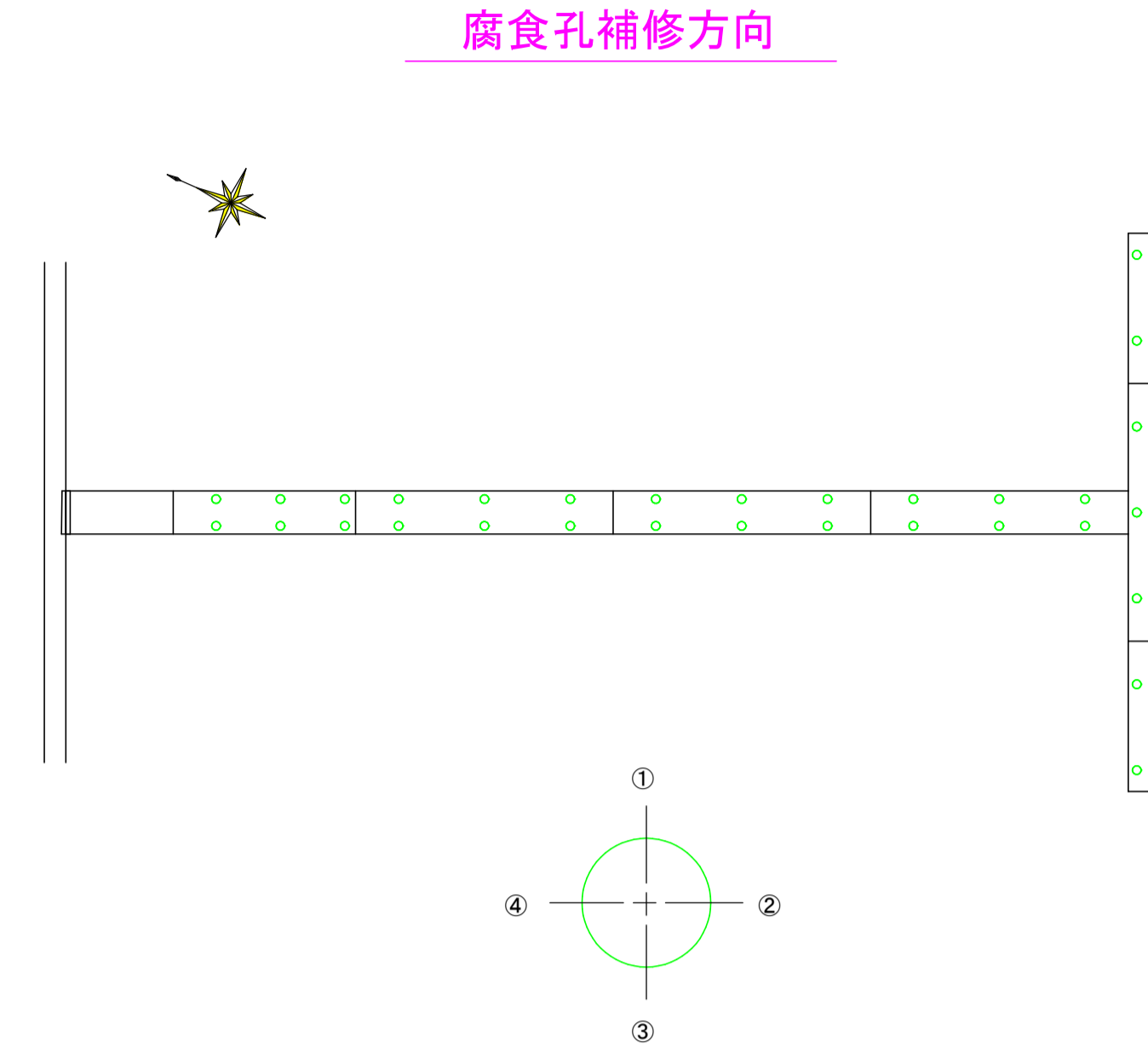
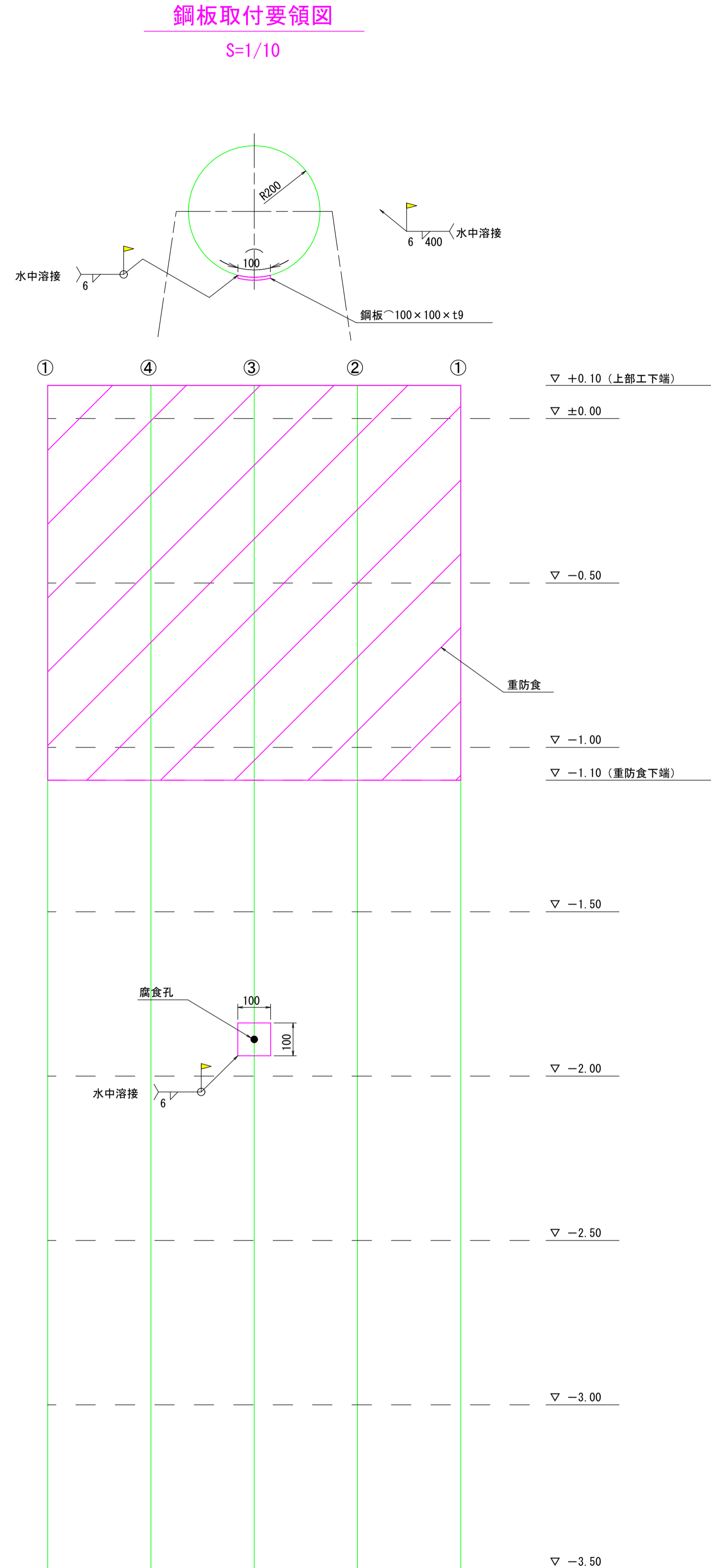
種別	1BL	2BL	3BL	4BL	5BL	6BL	7BL	合計
ケレン (m)	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 4=12.0$	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 6=18.1$	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 4=12.0$	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 6=18.1$	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 6=18.1$	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 6=18.1$	$0.40 \times \pi \times (3.50-1.10) \times 4=12.0$	108.4
鋼板溶接 (箇所) 100×100×9	1	2	1	4	-	-	-	8

注記  
 ・ケレン数量は、重防食下端 (C.D.L.-1.10) から設計時の潜水調査で計測した平均海底地盤高 (C.D.L.-3.50) を用いて、算出している。  
 ・鋼板溶接数量は、設計時の目視調査結果からの数量であることから、全航で再度ケレン調査を行い、孔食 (貫通孔) が36箇所以上確認された場合は、鋼板全周溶接に変更すること。

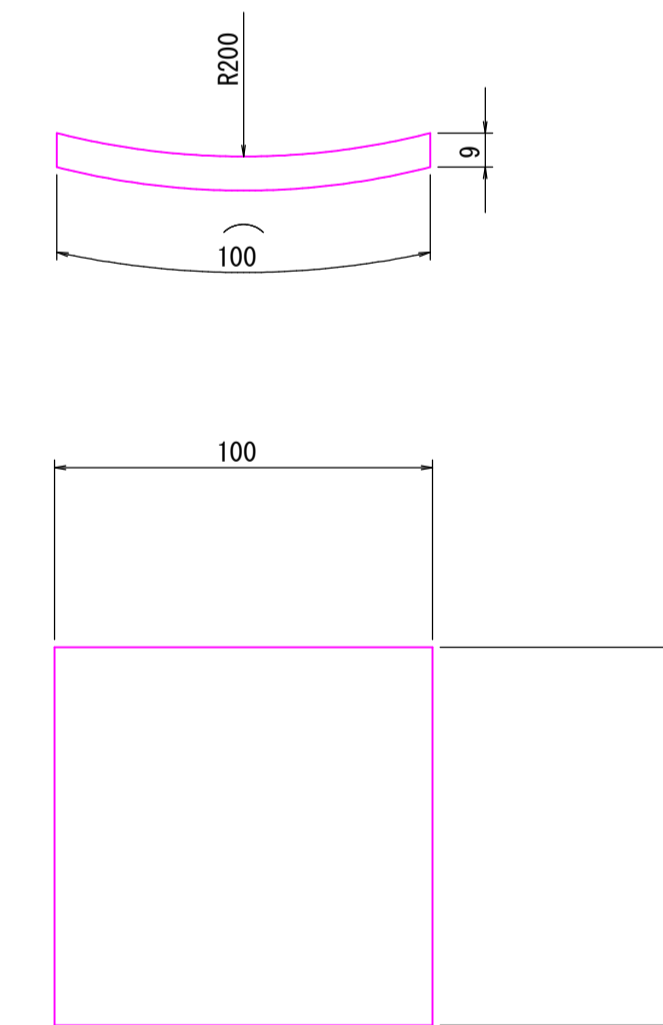
交付金 当初

年度別	令和 4 年度		
事業名	防災・安全交付金		
工事名	外港竹内南地区 境港公共マリーナ棧橋(-3.0m)改良工事		
図名	マリーナ3号棧橋鋼板溶接工位置図		
縮尺	1:100	単位	M
図面番号	全 4 葉中の 3		
位置	鳥取県境港市新屋町		
<b>境港管理組合</b>			

腐食孔補修一般図（鋼板溶接）



鋼板加工図  
S=1/2



材質：SM400A

注 記

- ・鋼板溶接設計数量は、設計時の目視調査結果からの数量であることから、全杭で再度ケレン調査を行い、孔食（貫通孔）が36箇所以上確認された場合は、鋼板全周溶接に変更すること。
- ・ケレン調査については、重防食下端（C.D.L.-1.10m）から海底地盤面までとする。

交付金 当初

年度別	令和 4 年度		
事業名	防災・安全交付金		
工事名	外港竹内南地区 境港公共マリーナ棧橋(-3.0m)改良工事		
図 名	腐食孔補修一般図（鋼板溶接）		
縮 尺	図 示	単 位	M
図面番号	全 4 葉中の 4		
位 置	鳥取県境港市新屋町		
境 港 管 理 組 合			